

第9回富浦地区学校再編検討委員会次第

日時 平成21年10月15日 午後7時

場所 南房総市役所別館1 大会議室

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告
4. 議事

(1)第1回地区説明会における市民意見の検討について

(2)第10回会議開催日程について

(3)その他

5. 閉会

第9回 富浦地区学校再編検討委員会 会議録

平成21年10月15日（木）午後7時から

南房総市役所 別館1 大会議室

記録者 吉田 貞

欠席者 山田(創)委員

中野委員

山田(松)委員

八巻委員

1 開 会

2 委員長・教育長挨拶

3 報 告

事務局 ○第8回の会議記録参照

○地区説明会の経過説明

※これらをもとにして地区説明会を開催した。

4 議事

事務局 議事に入ります。委員長に議長をお願いいたします。傍聴人に入っていてよろしいでしょうか。

委員長 はい、どうぞ。それでは、議事に入ります

第1回地区説明会における市民意見の検討にはります。事務局から説明します。

事務局 富浦地区の説明会について ※別紙資料会議録参照

八束地区の説明会について ※別紙資料会議録参照

事務局 説明会の中で、統合ありきかの質問があったが、これまでの経過について説明します。

平成19年度作成した再編計画に基づいている。資料より説明

今南房総市では、計画検討樹立にパブリックコメントで市民の意見をいただいた。その中の意見として、市をまたいでの学校統合・範囲を広げて良いのではないかという意見があったが検討委員会で検討した。市の方針であるのでよろしく願いしたい。

委員長 第1回の地区説明会では合意事項の3点、統合時期、位置、名称を地区説明会で説明した。富浦地区では問題はなかったが八束地区では、問題があった。

今日は、皆さんの意見を聞きたい。八東地区では統合が良いのか悪いのか出発点に戻った。

委員 第1回目の説明会では、なぜ統合が必要なのかを住民に説明して欲しいし、手順として、住民に納得してからにしてほしかった。

事務局 市の方針として、パブリックコメントを行い市民に問い統合が良いと考えた。市の方向性は分かってもらえたと判断して説明会を行った。

委員 市のやり方は、手順を踏んだようですが、学校の保護者の中には知らない人がいたので、パブリックコメントではズレがあった。今後、合併が必要なのだという説明をして欲しい。

事務局 計画の要約版をもって周知したと考えたが、不十分であれば説明会を行う機会をつくりたい。

委員長 これからやる機会を作っていただけたらどうか。

事務局 まず、保護者に再度説明する機会を設けたい。

委員長 両校とも日程を事務局と詰めていただきたい。他にいかがでしょうか。

委員 十分に説明していただきたい。言葉が難しいので、できるだけわかりやすい言葉で説明していただきたい。

事務局 分かりやすい資料を作成して、改めて説明をさせていただきたい。

委員長 再編計画を受け入れるか入れないか

委員 合併委員会を立ち上げる前に説明する必要が大事であった。

委員 専門部が進んでいますが、保護者の気持ちを逆なでしないように、専門部会を中止して欲しい。

委員 立ち上げの準備が不十分なので、この検討委員会の意味がない。

事務局 今、全くはじめにもどろうということで進んでいますが、検討委員会を立ち上げる時点の周知不足と考えます。しかし、市の広報誌等を使い平成19年度の立ち上げに市民にとどくようにした。計画書作成については、全戸に配付していませんが、要約版は全戸に配布しました。これらの内容等については、区長会で説明させてもらっています。小学校についてはPTAの役員の皆様に説明はしていったつもりです。計画書も数部渡したつもりです。保護者には文書で周知しました。統合を推進する意味で、保護者の方に集まっていただき今までの検討委員会での話し合いを説明していきたい。

この検討委員会は、今後も続けていきたい。

委員長 今、やめてしまっても、我々がやってきたことに意味はない。皆さんいかがですか。

委員 住民・保護者が納得しないのでは、この会を進めても意味がない。この会が無駄になるかならないかどうか分からないが、住民、保護者が納得しないのでは、どうしようもないのでは。

委員長 他にご意見を伺いたい。

事務局 第1回の検討委員会の時に、統合に向けて委員の合意を得ました。方針案を作成していったと理解している。大前提として、委員の皆様には、推進母体としてあるのだと考えている。この検討委員会は統合に向けて検討して欲しい。

委員長 統合するのがいいのか、悪いのかにすぐ戻ってしまう。南房総市の再編計画はできているので。

事務局 学校再編について、保護者にまず理解していただき、地域の皆様に説明していきたい。

認識のズレをうめる手法をとらせていただきたい。今までの経緯を説明させていただき共通認識を図っていきたい。

教育長 事の本質からズレてきている。子どもの学習環境、将来にプラスになるかマイナスかで検討して欲しい。子どもが増えない現状で今のままで言うて良いのか。子どものためにならないのであれば、この話から手を引かせてもらう。他地区の例：千倉の保育園 子どもが3人早く統合をして欲しいという話
部活の例：対外的な試合が成立しない。

安房地区は過疎化が進んでいる。確かにマンツーマンで面倒を見れば読み書きそろばんの学力はつく。しかし、学力がつくのは、子ども同士が切磋琢磨することである。子どもの自発性を育てる必要がある。ある程度の人数がいる。集団の中で、もまれることも必要である。20人以下では活力が出ない。社会に出て問題解決のできる子に育てたい。

どんどん他地域の合併がある。市の方は合理化していくことで、予算的にバスなどの運行があるので、もち出すことになる。費用の面ではプラスではない。

検討委員会は、パブリックコメント等で手順は踏んできている。今後、子ども達のために話し合いをし、理解を図っていく。子ども達のためにとって我々は考え統合を推進している。子どものためになるのかならないのかで考えていただきたい。子どもたちが減り続けているので。

委員 行政が住民に具体的に説明する事が大事である。

委員 第1回地区説明会を検討委員会ではなく行政が説明すべきでなかったか。

教育長 北三原では、この手法がうまく行かなかった。感情的になる人もいて、4年かかってしまった。何年やっても理解が得られなかった。そこで、検討委員会を設けて、検討していくようにした。再編は、手間暇がかかる。この会で検討したことがPTAの中で、話し合われるよさがある。子どもにとって、何が良いのか焦点をあてて話し合っていたいただきたい。行政が根気よく地域へ出向いて話し合いをする。

- 委員 検討委員会の主旨、立場を今一度考えた方がよい。合併に賛成か反対かは、あくまでも行政と住民であるので、住民に説明する必要がある。
- 委員長 事務局に地域に出向いてもらって丁寧にやってもらいましょう。
- 教育長 事務局もPTAのご理解をいただく努力をするという方向でいたら良いでしょうね。
- 委員 早めに第2回の地区説明会を開いて欲しい。
- 委員長 まずは保護者
- 委員 まずは、保護者というより地域住民を交えた方が話が早いのではないのでしょうか。
- 事務局 保護者について、ご理解をいただいてから、地域住民の方へ説明していきたいと考えています。その形で良いのでしょうか。
- 委員長 余り大勢ではなく、遠慮無く話せる会を。
- 委員 教育長さんへのお願いですが、できれば教育長さんに地区の皆さんに話を頂けないでしょうか。
- 教育長 事務局と検討させていただきます。
- 委員 保護者と地区住民とを分けて行うと言うことですが、1回で終わらせた方が良いと思います。
- 委員長 事務局はいかがですか。
- この委員会で決めた3つのことを確認することはよろしいでしょうか。

確認される

次回の日程について事務局からお願いします。

- 事務局 今回の会では、次回の日程は決めない。改めてお知らせします。
- 委員長 保護者説明会、専門部会等もあるので、この会は余り急がなくても良いという事で。
- 改めて検討して周知します。
- 事務局 以上をもちまして閉会とします。